

事業番号	128
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	日の岡入出知波田線道路改良事業(1工区)			担当課	道路河川課		
事業期間	開始年度	平成17	～	終了予定年度	平成25	担当係	整備係
総合計画	めざすまちの姿	調和のとれた便利なまち					
	目標	生活の要は道路（道路）					
	成果指標	通学路として指定されている歩道の歩道整備率		中間目標 (H27)	100%	最終目標 (H32)	100%
予算区分	一般会計	8 款 土木費	2 項 道路橋梁費	3 目 道路新設改良費			
	細事業	184 道路改良費					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	道路法					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	通行に危険を伴う道路線形の改良と歩道を整備することにより、利用者の安全と利便を確保する。						
内容(概要)	道路改良事業(片側歩道W=3.5m) 事業延長 L=380m W=11.25m(残事業 L=190m)						
これまでの改善・見直しの状況	道路線形の見直しや歩道整備を行うことで、交通安全の向上が図られた。 H16～17 測量設計 H18 用地調査・用地補償 H19 用地補償 H20～23 用地補償・工事						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	29,546	18,642	39,142	(内訳)
	決算	56,292	20,182		物件費(旅費、需用費、役務費) 692
財源内訳	国庫支出金	14,058	6,105	11,000	普通建設事業費(工事請負費) 14,730
	県支出金				補助費等(補償費) 4,760
	地方債	10,800	6,500	8,500	20,182
	その他				
	一般財源	31,434	7,577	19,642	
職員人件費	9,332	7,759	5,941	人工	1.0 人

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
	道路改良事業	目標			計画区間の完了		100%
		実績			完了		
		目標					
		実績					
		目標					
実績							

平成23度 活動内容	<p>日の岡入出知波田線道路改良事業(1工区) 危険な道路線形の改良と歩道を整備することにより、利用者の安全と利便性の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事 施工延長 L=100m 排水工 L= 46m 舗装工 A=840㎡</li> <li>・補償 工作物</li> </ul>					
課題・問題点 となった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地難航者への対応。</li> </ul>					
どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地難航者に対し、関係機関、地元自治会に事業協力への要請。</li> </ul>					
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区間の道路改良により、交通安全が図られた。また、歩道舗装を透水舗装にすることで、水はね防止、地下浸透による水資源の保全と活用に効果が期待できる。</li> </ul>				効果額 H24-H23 (千円)	

自己評価	事業目的の 達成状況	当年度改良区間の事業を完了。				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	道路線形や歩道が整備できないことにより、交通事故等の危険度が高まり地域住民にとって生活環境の悪化につながる。				
	判定	<b>A 継続</b>	現行の内容で実施	事業主体	市	
	判定理由	市民の安全性、利便性を図っていくうえで、補助事業を活用し継続的整備を進めていく必要がある。				
	今後の方向性	<p>道路改良事業の早期完了に向けた計画的な取組及び2工区の事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地難航者への折衝強化</li> <li>・1工区完了に向けた事業予算の確保</li> </ul>				